



【特集】宣伝部長 ケロ平

県が「平泉のカエル戯画」をモチーフにしたキャラクターデザインを公募し、25年9月に応募総数79件の中から、東京都在住のセンウェルさんの作品に決定。その後キャラクターの名称も公募し、同年11月応募総数419件の中から、大槌町立大槌中学校1年生(当時)の皆さん

平泉の人気キャラクター「ケロ平」の誕生

平成24年10月、奥州藤原氏の政庁跡とされる柳之御所遺跡の発掘調査で擬人化されたカエルの戯画(平泉のカエル戯画)が描かれた折敷片が出土しました。これは国宝の「鳥獣人物戯画」に類似しており、現代の漫画にも通じる表現方法が用いられています。そしてこの発見が「ケロ平」誕生につながります。

ケロ平誕生のきっかけ 「平泉のカエル戯画」

ご当地キャラクターとは、地方自治体や地元有志、地域企業などが、地域全般の情報PRや商業振興など地域活性化のために創作したキャラクターのことです。

現在、世界遺産平泉PRキャラクターであり、平泉世界遺産登録5周年宣伝部長の「ケロ平」が県内外を跳び回り、世界遺産平泉の知名度アップに取り組んでいます。

今月の特集は、そんなケロ平の活躍取材しました。

による「ケロ平」に決定しました。達増知事から、26年6月、ケロ平の着ぐるみのお披露目があり、「世界遺産平泉PRキャラクター」としてのケロ平の活躍が始まりました。



【柳之御所遺跡】ここで発見されたんだケロ平

出土した「平泉のカエル戯画」



宮城県登米市、栗原市、一関市、平泉町の平成28年度第1回首長懇談会は4月27日、宮城県登米市で開かれました。

この懇談会は、人口減少、少子高齢化など、さまざまな課題を解決するため、宮城県登米市、栗原市、一関市が昨年度から県境を越えて行っている話し合いの場。今年度から当町も加わりました。

布施孝尚登米市長は「地方創生が叫ばれる中、隣町と争うのではなく、それぞれが相乗効果を出すという視点が大切。県境を越えたこの取り組みが全国のトップランナーとなるようにしていきたい」とあいさつ。

佐藤勇栗原市長は「観光事業で連携していくことはすばらしいこと」と期待を込めました。

勝部修一関市長は「地域の課題が一つの自治体だけでは解決しない時代。住民の行動範囲を前提とした施策を展開しなければならぬ。県境をまたいだ自治体同士が国に要望することも必要。一丸となって情報発信していければいい」と広域的な取り組みの重要性を話しました。

初参加となる青木幸保町長は「人口減少対策にはどの自治体も取り組んできた。国の地方創生の考え方に地方の発想を取り入れてもらえるよう連携したい」と話しました。

懇談会では、県境を越えて4市町が連携して取り組む本年度の事業として「観光パンフレットの設置」、「観光キャラバン」、「婚活事業」を行っていくことが確認されました。

宮城県登米市 布施 孝尚 市長 昭和36年宮城県登米市生まれ。日本大学歯学部卒。平成9年から登米郡歯科医師会理事。12年から宮城県歯科医師会理事。17年登米市長に初当選。現在3期目。  ふせ・たかひさ 53歳	宮城県栗原市 佐藤 勇 市長 昭和17年兵庫県三田市生まれ。立教大学文学部卒。58年に宮城県議会議員に初当選し、5期にわたって務めた。平成13年から15年までは、同議会議長を歴任。17年、市長に初当選。現在3期目。  さとう・いさむ 72歳
岩手県一関市 勝部 修 市長 昭和25年岩手県一関市生まれ。亜細亜大学法学部卒。49年に岩手県庁に入庁。総合雇用対策局長、総合政策室長、県南広域振興局長などを歴任。平成21年、一関市長に初当選。現在2期目。  かつべ・おさむ 65歳	岩手県平泉町 青木 幸保 町長 昭和29年岩手県平泉町生まれ。岩手県立水沢農業高校卒。昭和63年に町議会議員に初当選し、平成20年から26年まで同議会議長、25年から岩手県町村議会議長会会長を歴任。26年、町長に初当選。現在1期目。  あおき・ゆきお 62歳

●これまでの経過／平成27年4月…第1回3市首長懇談会／11月…一関市で栗原市長による首長講演会開催／12月…第2回3市首長懇談会、平泉町に対し、首長懇談会への参加要請、一関市

で3市合同婚活クリスマスパーティー開催／28年1月…栗原市で登米市長による首長講演会開催、登米市で一関市長による首長講演会開催／4月…登米市で4市町首長懇談会開催

【Pick Up】

県境を越える連携で 新たなまちづくりを



登米市、栗原市、一関市、平泉町首長懇談会を開催

①岩手県平泉町

- 面積 63.39平方キロメートル
- 人口 7,906人(28年4月1日現在)
- 概要 昭和30年4月15日に平泉町と長島村が合併。平成23年6月29日、「平泉の文化遺産」が世界文化遺産に登録。年間約200万人の観光客が訪れる。

②岩手県一関市

- 面積 1,256.42平方キロメートル
- 人口 121,735人(28年4月1日現在)
- 概要 平成17年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の1市4町2村が合併し、さらに23年9月に藤沢町を編入。

③宮城県栗原市

- 面積 804.97平方キロメートル
- 人口 71,222人(28年4月1日現在)
- 概要 平成17年4月1日に築館町、若柳町、栗駒町、清水町、一迫町、瀬峰町、鶯沢町、金成町、志波姫町、花山村の9町1村が合併。宮城県で最も広い面積を有し、稲作中心の農業が盛ん。栗駒山や伊豆沼などの観光地も有名。

④宮城県登米市

- 面積 536.12平方キロメートル
- 人口 82,487人(28年4月1日現在)
- 概要 平成17年4月1日に迫町、登米(とよま)町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町、津山町の9町が合併し誕生した。県内有数の穀倉地帯となっていて、ササニシキ、ひとめぼれの主産地として有名。